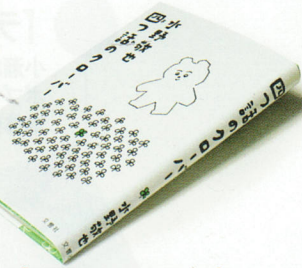


「夢」「幸せ」「愛」「命」とは何か

幸運な人生を送りたい人への問い

水野敬也 ● Keiya Mizuno



『四つ話のクローバー』

文響社
本体価格 1429 円 + 税
ミステリー、格闘対戦もの、
童話など4つの物語を通して「夢」や「幸せ」など、人生の大テーマについて学べる。会社や学校では教えてくれない「幸運」を呼び込むための具体的なヒントが詰まっている。



作家。DVD作品『温厚な上司の怒らせ方』、漫画『地球くん』の企画構成・原案なども手がける。

この本の中には四編の物語が収められています。タイトルに付けたように、見つけたら幸せになれるという四つ葉のクローバー。幸せや幸運を見つけるための具体的な答えを、四枚の葉に見立てて僕なりに描きました。

例えば最初の物語「深沢会長の秘密」。この短編では世界で一つの成功法則を教えるために、主人公が秘密のベールに包まれたある人物「深沢会長を訪れます」。

彼らの奇妙で笑えるやり取りの中で徐々に明らかになるのは、人が自分の欲望を成就させる方法はただ一つ、「日々の時間を夢に向かう努力で染め上げる」ということ。そんなのは当たり前だと思うかもしれませんが、努力することが辛くて、苦しい

んじゃないか、と主人公のように思う人も多いでしょう。

でも、ここでちよつと考えてみる。それなら「頑張ることが苦にならない状況」を作り出せばいいのだ、と。努力によって手に入れられる大きな快楽を想像して、それに普段の気持ちを従わせる。寝ないで勉強をするのは大変だけれど、先にある夢を実現するためなら、その努力そのものが楽しいのと一緒ですね。つまり「いかに楽しく努力できるか」という発想の大切さを、この短い物語では表現しているわけです。

今から約二年前、明確な答えが描かれる「自己啓発書」になることを強く意識しながら、僕はこうした短編を書き始めました。ベストセラーになった『夢をかな

えるゾウ』に対し、もっと短くて、物語色の強いものを書きたい。

そう考えながらこつこつと書きためた短編は、最終的に三〇作近くになりました。今回はそれらを五〇人ほどの読者に読んでもらい、評判の良かった四編を最終的に選んでいきます。

自分でも興味深かったのは、そうして残された物語がどれも根源的なテーマを描いたものだったことです。一話目の「深沢会長の秘密」に続く三編では、幸せとは何か、愛とは何かといったテーマを描いています。

人は「成功」だけを手に入れても幸せになれるとは限りません。人生の中で大切なこととは何かを、この四編の物語を通して感じとってほしいですね。

稲泉 連=構成 尾関裕士=撮影